

# 小路めぐりマップ 津島市探訪

## ②どっぷり浸かる！ 津島の魅力凝縮 めぐりコース

このコースは、歴史ファン向けで、津島のまちなに残る  
織田信長や豊臣秀吉、加藤清正、戦国武将ゆかりの史跡を  
じっくり訪ねます。想像力を働かせて、お楽しみください。

名鉄津島駅スタート 総距離約 4.3km (約 2 時間 30 分)  
⇒700m②妙延寺⇒410m④西福寺⇒760m⑥堀田家住宅⇒760m⑧清正公社⇒510m⑩山神社  
⇒290m⑫雲居寺⇒210m⑭良王神社⇒340m⑯常楽寺⇒430m 名鉄津島駅 (ゴール)  
(注) マップの赤線上での距離、所要時間。所要時間は分速 60m 及び滞在時間 5 分で算定。



**⑧清正公社**  
戦国武将加藤清正を祀る

**⑨成信坊**  
伊勢長島一向一揆ゆかりのお寺

**⑦津島神社**  
戦国武将の崇敬を受けた  
全国天王総本社

楼門

本殿

南門

**⑥堀田家住宅**  
国・重要文化財の町家

**⑤天王川公園御旅所  
(天王橋址)**  
織田信長が天王祭を見た場所

**⑩山神社**  
(旧津島御殿址)  
尾張藩御殿の鎮守社

**④西福寺**  
幕臣堀田氏ゆかりの寺

**③瑞泉寺**  
良王君の菩提寺

**②妙延寺**  
加藤清正学びの寺

出入口：南

**⑯常楽寺**  
津島神社主水室家の  
菩提寺

**①観音寺**  
織田家三代ゆかりの  
元神宮寺社僧坊

出入口：東

**⑮西方寺 (旧奴野城址)**  
良王君ゆかりの  
城館址に建つお寺

**⑭良王神社**  
後醍醐天皇の  
ひ孫を祀る神社

出入口：東

**⑫雲居寺**  
桶狭間の合戦一番槍  
服部小平太の菩提寺

**⑪大龍寺**  
後醍醐天皇の孫  
尹良親王の菩提寺

**⑬不動院**  
『宗長手記』に登場する  
織田家ゆかりの寺

**津島市観光  
交流センター**  
津島市の観光情報は  
こちら

- 凡例
- ①～⑯：おすすめスポット
  - (赤線)：おすすめルート
  - (黄線)：本町筋 (旧街道)
  - 🚉：駅
  - 🏯：寺院
  - 🏪：神社
  - 🚻：トイレ
  - 🚿：多目的トイレ
  - 🏠：津島ゲストハウス
  - 🏢：高層建築物 (目印)
  - 📍：名所

解説は裏面にあります

100m 200m



## コース概要

愛知県は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の戦国三英傑を産んだ土地として知られています。

かつて津島には川湊があり、伊勢・美濃・尾張を結ぶ交通の要衝、津島神社の門前町でもあった尾張最大の商業都市でした。勝幡城(しょばたじょう)を拠点とする織田弾正忠家(織田信長の家系)は津島と同盟関係を結び、信長の代になり津島の経済力を背景に尾張国を統一、さらに天下統一へ駆け出していきました。織田弾正忠家との同盟以前にも津島は町衆による自治が行われており、彼らは戦国時代には津島衆として織田信長や豊臣秀吉、後には徳川家に仕える者もいました。

### ① 観音寺(かんのんじ)

観音寺は、戦国時代に当地における白山信仰の先達を織田信秀・信長・信忠によって認められました。現在は本尊不動明王の縁日(毎月28日午前10時より)に護摩を焚いて家内安全、厄除等の祈祷をしています。

### ② 妙延寺(みょうえんじ)

戦国時代、幼少期の加藤清正(かとうきよまさ)が津島に住んでいた頃、手習(読み書き)を学んだ「寺子屋」として知られる日蓮宗の寺院です。清正が、手習いの半紙を干したという草紙掛松の幹が寺宝として現在に伝わります。

### ③ 瑞泉寺(ずいせんじ)

後醍醐天皇のひ孫良王君の菩提寺。津島には、家臣が良王君を津島にお連れしたという歴史があります。境内に良王君のお墓・位牌があります。また、氷室長翁の茶室「椿園」があります。

### ④ 西福寺(さいふくじ)

四家七党堀田氏の菩提寺。津島の堀田氏からは、江戸幕府三代将軍徳川家光の筆頭家老を勤めた下総佐倉の大名堀田正盛(ほったまさもり)らが輩出されています。

### ⑤ 天王川公園御旅所(天王橋址)

尾張津島天王祭の際に、神輿(みこし)が運ばれる場所。江戸時代中期ごろまでは、川が流れており、東西に天王橋という大きな橋が架けられていました。戦国時代、織田信長が橋の上から尾張津島天王祭を見物したと津島の神官真野時綱によって記された『大祭勘例帳』に記されています。

### ⑥ 堀田家住宅(ほったけじゅうたく)

江戸時代に建てられた町家。戦国時代の津島神社の神官堀田番頭太夫之定の二男、之理を初代とする堀田理右衛門家の邸宅です。之理は尾張出身の武将福島正則に仕えました。また少年時代の豊臣秀吉は津島の堀田番頭太夫家に奉公に出ていたとも伝わります。

開館日:土・日曜日、祝日

開館時間:午前10時～午後3時

料金:一般300円(※200円)、小・中学生100円(50円)

※()内は15名以上の団体料金割引

その他:開館日以外の火から金曜日(祝日を除く)に観覧希望の場合は津島市社会教育課(0567-55-9421)まで。

### ⑦ 津島神社(つしまじんじや)

疫病厄難除けで知られる全国天王総本社。牛頭天王を祀っていたことから津島天王社と呼ばれ、津島は門前町として尾張一のにぎわいを見せました。織田信長からも厚い崇敬を受け、名だたる武将からも信仰を集めました。豊臣秀吉は楼門を、井伊直政の娘政子は夫である徳川家康の四男松平忠吉のため本殿(以上国の重要文化財)を、豊臣秀頼は南門を、秀吉の母大政所は居森社本殿を寄進しており、現在も安土・桃山時代の華やかな雰囲気を与えています。また、境内には良王君の父尹良親王(ゆきよししんのう)を祀る若宮社があります。

### ⑧ 清正公社(せいしょうこうしゃ)

戦国武将、加藤清正が幼少期を過ごした叔父の家のあったとされる場所に建てられた清正を祀る神社。清正の幼少期の泥棒退治の逸話が津島には残ります。

### ⑨ 成信坊(じょうしんぼう)

戦国時代、伊勢長島一向一揆の指導者教如上人が、対立する織田の軍勢に襲われた際、当時の成信坊住職祐念が上人の身代わりになりました。その功績により「津島之坊」の坊号が授けられました。一方信長も、伊勢長島一向一揆の際に津島に陣を取ったと『信長公記』には記されています。

### ⑩ 山神社(旧津島御殿址)(やまがみしゃ)

江戸時代初期、徳川家康の九男で初代尾張藩主徳川義直の別荘津島御殿がこのあたりにあったとされ、山神社は御殿の鎮守社であったと伝わります。

### ⑪ 大龍寺(だいらりゅうじ)

後醍醐天皇の孫、尹良親王を弔うため子の良王君が建立した寺。織田信忠らの禁制文書(お触れ書き)が伝わっています。

### ⑫ 雲居寺(うんごうじ)

戦国時代、若き織田信長を支えた津島衆の一人服部小平太の菩提寺。小平太は桶狭間の合戦で今川義元に一番槍をつけた武功で知られます。

### ⑬ 不動院(ふどういん)

戦国時代は、正覚院と呼ばれた寺院。織田弾正忠家の津島における接待館の場として用いられたことが、連歌師宗長の『宗長手記』に記されています。

### ⑭ 良王神社(りょうおうじんじや)

津島に伝わる後南朝の歴史書『浪合記』の人物、良王君を祀ると伝わる神社。境内に五輪の塔があります。

### ⑮ 西方寺(旧奴野城址)(さいほうじ)

この辺りには、四家七党の一つ大橋家の居城奴野城(ぬのやじょう)がありました。奴野城は室町時代には、後醍醐天皇のひ孫良王君が住まいとしました。戦国時代には津島の経済力を求めた織田信秀によって、当時の大橋家当主大橋重長のもとに、織田信長の姉くらの方が嫁いだと伝わります。

### ⑯ 常楽寺(じょうらくじ)

津島神社(津島天王社)神主の氷室家の菩提寺であった禅宗寺院。境内には江戸時代後期の津島神社神主であり文人の氷室長翁(豊長)の墓があります。長翁は、桶狭間の古戦場に「桶狭弔古碑」を建立しています。

## 用語集

### 尾張津島天王祭(おわりつしまてんのうまつり)

開催日:7月第四土曜日夜(宵祭)と翌日曜日朝(朝祭)

場所:天王川公園及び津島神社

津島神社の祭礼で、600年近い歴史を持つ。天王川公園の丸池に無数の提灯をともした5艘の巻藁船(まきわらぶね)を浮かべる宵祭、翌朝の能人形で飾った6艘の車楽舟(だんじりぶね)を浮かべる朝祭はユネスコ無形文化遺産にも登録されています。一説によると、良王君と四家七党が北朝の武将を討ち果たしたことが祭の起源とされています。戦国時代織田信長が祭を見物したほか、本能寺の変のあった年には、舟に飾りをつけない素車(すくるま)の状態で行い信長に弔意を示したとされています。豊臣秀吉が、伏見城下で天王祭を催しようとしたとも伝わり、尾張徳川家歴代当主もたびたび観覧するなど天下人にも愛された祭です。

### 天王川公園(旧津島湊)

天王川公園はかつて、豊かな濃尾平野と河川を通じて伊勢湾を結ぶ要衝津島湊であり、天王川という川の湊でした。

## 小路めぐりマップについて

・平成28年度にワークショップで作成した20種類の小路めぐりマップを4種類に再編しました。

・小路めぐりマップは、津島市公式ホームページよりダウンロードしてお楽しみいただけます。

【URL】<http://www.city.tsushima.lg.jp/index.html>

【注意事項】掲載スポットの営業・拝観情報はマップ作成後に変更されている場合がありますのでご了承ください。

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

愛知北支店 津島支社  
☎0567-25-7961  
〒496-0045 愛知県津島市東柳町 2-22

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
名古屋支店 名古屋西支社  
〒460-8551 愛知県名古屋市中区丸の内 3-22-21  
Tel:052-953-3085 <https://www.sjnk.co.jp/>

【QRコード】

